

第二十七回帝國議會 貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十四年三月十四日午後一時三十六分開議

出席委員左ノ如シ

阪 泰碩君 福井 三郎君 中島 祐八君
關 和知君 森 秀次君

出席政府委員左ノ如シ

法政局長官 安廣伴一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案

○委員長(阪泰碩君) 開會致シマス

○福井三郎君 ツレデハ本員ハ提出ノ趣意ヲ一應説明致シマス、此法律案ハ歴史ヲ有シタル法律案アリマシテ、一昨年デアリマシタカ野田卯太郎君ニ依ッテ本院ニ提出セラレテ、貴族院ニ於テ或理由ノ下ニ否決サレタ案デアリマス、其當時ノ提案ノ趣意ハ茲ニ問題ニナリテ居ル趣意ノ上ニ、尙雇ヲモ加ヘルト云フ趣意デアリマシタ、故ニ貴族院並ニ政府ハ雇アル者ヲ加ヘルト云フコトニスルト、ツマリ貴衆兩院ノ雇ノミナラズ諸官廳ノ雇モ之ニ準ジナケレバナラヌ然レバ恩給法ノ根本ヲモ覆ヘスコトニナルカラ遺憾ナガラ同意シ難ト云フコト否決ニナッタデアリマス、今般提出致シマシタノハ、其嫌ヒアル分ヲ除イテ速記手ノ本官デケラ限ツタデアリマス、而シテツレモ既往ダケニ限ツタデアリマス、スルト此法律案ガ通過シテ法律トナッタ曉ニドウ云フコトニナルカ、從ツテ國庫ガ負擔スベキモノハドウナルカト云フト、現在衆議院ニ於テ速記手トシテ居ル者ガ雇ト共ニ二十八人位アル、貴族院ハ二十四名ゴザイマスガ、合シテ六十人足ラズ五十人餘ト承知シテ居リマスガ、其中速記手ノ本官ハ衆議院ニ於テ僅カニ十九人、貴族院ニ於テ十二人カ四人カデアルト思ヒマス、雙方通ジテ二十人餘ノ者デアリマス、ツレデ是ハ打拾テ置イテモ今三三四年經マスト當然恩給法ニ入ルベキモノデアリマスニモ拘ハラズ、茲ニ此案ヲ提出シタ所以ト云フモノハ、兩院ノ速記手ハ最早二十年モ奉職シテ居ル者デモ未ダ恩給ニ與カレヌト云フ譯デ、又速記手ト云フ者ヲ任用スル法律ガ御承知ノ如ク二十二年ノ勅令第三百四十九號並三百五十號ヲ以テ規定サレタ以後本官トナッタデアリマス、速記ニ從事シテ居ル者ハ雇タリシ時分ト本官ニナッタ後トノ位ノ差ガアルカト云フト、其間ノ差ハナイ、其速記ヲ用ユルニ付テモ其勤勉ニ於テモ差シタル違ハナイノデ、寧ロドウカト云ヘバ、任官以後ハ三十二年以後デアリマスカラ、速記ノ途モ益々開ケテ行テ秩序ガ立テ來タノデ、寧ロ勤怠宜イ、之ニ反シテ既往數年ハ議會開議勿々ノコトデアリマスルカラ、百事何事モ緒ニ著イテ居ラナイ速記モ發明サレテ月日モ立タヌコトデアリマスルカラ、用ユル上ニ於テ注意モ一方ナラヌ骨折デアッタアラウト考ヘマス、故ニ任官後ヨリハ任官前ノ方ガ確カニ骨ガ折レタト言ハナケレバナラヌニモ拘ハラズ、是ガ二十年モ奉職シテ居ッテ、尙且ツ恩給ノ恩澤ニ浴スルコトガ出來ヌ、即チ法ノ制定ノ時ガ遅カタノデアアル、政府ニ

都合ガアツテ提出ガ後レテ居ッタ、而シテ其氣付イタ時分ニハ解散ニ次グニ解散ヲ以テスルト云フヤウナ時期デアツテ、其法律ノ提出ノ機ニ至ラナカッタ其勤勉ニシテ最モ速記界ノ模範トナルベキ、此帝國議會ノ裏面ニ於テ實ニ察スルニ餘リアル勤キヲシテ居ル速記手ガ、獨リ是ニ浴スルコトガ出來ヌト云フコトハ法律ノ不備ヨリ斯様ナコトガ出來タノデアリマスカラシテ、今般ノ法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、斯ク致シマシタナレバ想フニ政府モ反對ハナカラウト思ヒマス、貴族院ニ於テモ無論異議ナク本案ハ通過スルダラウト信ジテ居リマス、幸ニ政府委員ガ見エマシタカラシテ、政府ノ意見モ伺ッテ見タイト存ジマス、尙一言附加シテ置キタイノハ、案ノ中ニ今回ハツレニ書加ヘテ置キマセヌケレドモ、是ハ決議ノ際ニ政府ニ其希望ヲ寄セテ置キタイト思ヒマスガ、各省何レニ於テモ技手ナルモノヲ採用シテ居ル處ニハ、其上ニ技師ガアル、則チ技師ガアツテ則チ技手ガアルト云フコトニナッテ居リマス、頗ル此拵ヘ方ハ宜イ拵ヘ方デアルト思フ、果シテ技手が鍛鍊ヲ加ヘテ往ツタナレバ、進シテ技師ニナルト云フ途ガアツタナラバ、人ヲ用ヒルニ獎勵ノ法ニモ適ヒ、又働グ上ニ於テモ技手ヲ登庸シテ指揮監督スル者ガ出來ルト云フコト極宜イデアリマスガ、各官省デモサウ云フ制度ニナッテ居リマスノニ、獨リ貴衆兩院ノミハ技手ガアツテ技師ガナシト云フコトニナッテ居リマスカラ、是モ今回ノ法案ニハ書加ヘテアリマセヌケレドモ、或時期ニ於テ政府ハ此上ニ技師ヲ置クト云フ提案ヲセラレタイト思フノデアリマス、サウスルト技手が進シテ技師ニナルト云フ途ヲ與ヘマスカラ、之ヲ獎勵スル所以ノ途ニモ適ヒ、益々速記ノ實效ヲ奏スルコトガ出來ルノデアラウト思ヒマス、以上ハ此案ヲ提出致シマシタ趣意ノ大略デアリマス

○森秀次君 今提出ノ理由ハ承リマシタガ、ツレニ對スル政府ノ意見ハドウデアアルカ、一ツ政府委員ノ御意見ヲ承リタイ

○政府委員(安廣伴一郎君) 此案ニ對シマシテ政府ノ意見ト申シマスノハ、恩給法ノ土臺ノ拵ヘ方ガ、雇ト云フモノニ對シマシテハ全然恩給ノ恩典ニ浴セナイト云フ立テ方ニナッテ居リマス、恩給法ノ基礎ガサウ云フ立テ方ニナッテ居リマスカラシテ、今日ノ雇ト云フモノハ全然恩給ノ中カラ省カレテ居ル次第デゴザイマス、雇デアルトカ御用掛トカハ凡テサウナッテ居ル、若シ此案ガ通過致シマシタナラバ此他ニモヤハリ斯ウ云フニ法律ヲ改正シナケレバナラヌモノモ出テ參リマセウト思ヒマス、今マデノ立テ方ヲ改メルト云フコトニナリマスカラ、政府トシテハ直ニ之ニ贊成ヲ致スコトハ少シムヅカシウゴザイマス、甚ダ遺憾ノ次第デゴザイマスガ、直ニ之ニ向ッテ贊成スルト云フコトハ少シ出來兼ネルノデゴザイマス

○福井三郎君 諸君ニ別ニ御質問モナイヤウデアリマスレバ、チヨット此際速記ヲ中止シテ、協議會ニシテ御相談シテ見タイト思フコトガアリマスガ如何デセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(阪泰碩君) ツレデハ速記ヲ中止致シマス

(速記中止)

○中島祐八君 修正意見ヲ提出シマス、ソレハ斯ウ云フノデス、「明治三十年勅令第
三百四十九號及同年勅令第三百五十號施行前ヨリ貴族院又ハ衆議院ノ速記事務
ニ從事シ同令施行ノ際引續キ貴族院速記技手又ハ衆議院速記技手ニ任用セラレ本
法施行ノ際マテ勤續スル者ハ其ノ任用前ノ勤務年月數ヲ官吏恩給法及官吏遺族扶
助料ノ在官年月數ニ算入ス」

○福井三郎君 中島君ノ意見ニ贊成致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(阪泰碩君) 其他異議ハアリマセヌカ——ソレデハ其通り決シマス、散會シ
マス

午後一時五十四散會